福島工業株式会社

証券コード:6420

FINE!

株主・投資家の皆さまへ

第65期中間報告書

2015年4月1日～2015年9月30日

Fukushima

フレッシュ・バリューをあなたとともに

トップメッセージ

企業理念

環境・安全・安心をテーマに「幸せ創造企業」を目指します。

第1項 生活者の幸せ

わたしたちは、環境・安全・安心をテーマに、お客様と協働し、
生活者の「幸せ」に寄与することを基本使命とします。

第2項 お客様の幸せ

わたしたちは、独自の技術とシステムにより、フードビジネスに新しい価値を創造し、
お客様の「幸せ」に貢献することを基本使命とします。

第3項 社員の幸せ

わたしたちは、自己責任能力を高め、自身と社業の成長を通じて、
物心両面の「幸せ」を追求することを基本使命とします。

第4項 株主・お取引先の幸せ

わたしたちは、将来への目標を共有し、常に業績向上に努め株主やお取引先に
「幸せ」を提供することを基本使命とします。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
当社第65期（平成28年3月期）中間の事業活動の概況を、ご報告申し上げます。
株主の皆様には、引き続きご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長　福島　裕

―上半期の業績について―

当上半期におけるわが国経済は、政府の景気対策等の効果もあり、緩やかながら景気回復基調が続きました。また、海外経済の減速懸念や消費増税以降の物価上昇などから、景気の先行き不透明感は残りましたが、一部個人消費に回復基調が見られるなど明るい兆しも見られました。

当企業集団を取り巻く環境につきましては、外食産業ではレストラン業態で売上が堅調に推移し、客単価に上昇傾向が見られるなど消費回復の兆しが見られました。

流通産業では梅雨明け以降全国的な猛暑により、コンビニで飲料・アイスクリーム等の夏物商材の売上が伸びた他、スーパーマーケットにおいても食料品の売上は堅調に推移いたしました。

このような経済環境の中、冷凍冷蔵庫事業では、全国の販売店への営業を強化し、汎用業務用冷凍冷蔵庫、製氷機など当社主力商品の販売強化を図ったことにより売上が増加しました。また、エンジニアリング事業では、大型化する市場に対応できる技術力が評価され、年々売上が拡大してきており、プロセスセンターや食肉加工センターなどの大型物件の売上が増加しました。以上から、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比8.3％の増収、営業利益は前年同四半期比18.5％の増益、経常利益は前年同四半期比13.3％の増益、四半期純利益は前年同四半期比39.3％の増益となりました。

―今後の見通し―

下半期も、新店への投資が控えられると思われます。しかしながら、改装案件の受注や、コンビニやドラッグストアといった業態への販路拡大で、売上増大に取り組んでまいります。

ショーケース事業では、再編が進むコンビニ市場への販売を拡大し、シェア30％を目指してまいります。エンジニアリング事業では、グループ会社である高橋工業株式会社、株式会社省研、エンジニアリング事業部とのシナジー効果を最大限に発揮し、物流センターや食品工場などの大型物件の受注拡大で売上100億を目指します。

また、冷凍冷蔵庫事業では、病院や老健施設などを重点的に攻略するとともに、食品工場や給食センターといった大量調理施設へ積極的に提案してまいります。サービス事業では、東西のサービスセンターを核に、お客様のニーズにお応えするサービタイゼーションの実現に取り組んでまいります。

さらに、8月よりタイの冷蔵庫工場が稼働いたしました。今後、海外における製造・販売を一層強化し、ASEAN諸国へ当社の安心・安全技術をお届けできるよう取り組んでまいります。

当社は、冷蔵庫やショーケースといった製品を販売するだけでなく、当社製品を使用してくださるお客様や、その先の生活者の皆様の食生活に安心と安全を届け、ひいては社会に貢献できるよう、当社が持つ独自技術を磨いてまいります。

株主の皆様には今後ともなお一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

第65期中間連結決算（単位：百万円）

特集❶

2015年タイ工場を新設。
成長が予想される アジア市場の開拓を目指す。

当社は、ASEAN諸国における業務用冷凍冷蔵庫の生産拠点として、タイ（ラヨン）に製造工場を設立いたしました。アジアの食文化、食生活品質の向上に貢献してまいります。

タイ工場で業務用冷凍冷蔵庫を製造。海外から海外へ、販路拡大を実現。

2015年8月31日、タイ国ラヨン県において、タイ工場竣工を記念したオープニングセレモニーが開催されました。ラヨン県知事をはじめ、イースタンインダストリアルパーク社長他、沢山の方々にご来賓いただき、盛大なセレモニーとなりました。

タイ工場では、長年当社が培ってきた温度コントロール技術で、現地のニーズに合った品質やコストの製品を開発いたしました。

今後は、これらの製品をタイムリーに各国のお客様にお届けできるよう取り組んでまいります。

タイ工場概要

商号:Fukushima　Industries(Thailand)Co.,Ltd
所在地:タイ国ラヨン県サイアムイースタンインダストリアルパーク
敷地面積:2万2400㎡
延床面積:3,500㎡

海外拠点とのネットワークを活かし製品の販売力を強化します。

当社のアジア市場における、業務用冷凍冷蔵庫の生産拠点として建設を進めてきたタイ工場がこのたび竣工し、本格的に生産を開始いたしました。

タイ工場は、建設の企画当初から、ASEAN諸国での業務用冷凍冷蔵庫販売を計画。ASEAN諸国は熱帯地方であることから、日本での設計に比べ一段と冷却能力を高め、耐久性等についても開発段階から万全の対策を整えており、業務用冷凍冷蔵庫やキュービックリーチインショーケースの生産を行います。なお、2018年度には年間生産台数8,000台を見込んでおります。

また、当社の香港、上海、シンガポール、台湾、マレーシア、タイ、ベトナムなどの現地法人及び海外代理店を通して、より一層アジアの生活者に寄り添い、当社の企業理念である食の安全･安心をお届けいたします。

特集❷

キッザニア甲子園に福島工業がパビリオンを出展。

オープニングセレモニー

兵庫県西宮市にある、こどもの職業・社会体験型施設「キッザニア甲子園」に、当社もオフィシャルスポンサーとして『冷蔵サポートセンター』パビリオンを出展いたしました。

「キッザニア甲子園」に出展することで、パビリオンを体験してくれるこども達や保護者の方に、普段口にしている食品には、いつでも安全に安心して食べることができるように「縁の下の力持ち」として、福島工業が社会の役に立っていることを知っていただくことができるのではと考えています。

『キッザニア』とは?

「キッザニア」は、メキシコのKZM社（本社:メキシコ・シティ、CEO:ハビエル・ロペス）によって開発された、こども向けの職業・社会体験型施設で、3歳から15歳までのこども達を主な対象とした、本格的な道具や設備を使って大人のように様々な仕事やサービスを体験することができる「こどもが主役の街」です。現実社会のほぼ2/3のサイズで造られた、60以上の実在する企業が出展するパビリオンが、リアルな街並みを形成しており、その中で90種類以上の職業・社会体験をすることができます。

『冷蔵サポートセンター』パビリオン概要

職業名:サポートスタッフ　定員:4名/1回
所要時間:約30分　給料:8キッゾ
体験内容:
①「管理モニター」で冷蔵機器の稼働状況を確認する
②警報が出ている冷蔵機器を特定し、メンテナンスに向かう
③冷蔵機器を点検し、修理する
④修理箇所が直ったことを確認し、作業報告を行う

こども達に仕事の大切さ、食の魅力を伝える、『冷蔵サポートセンター』パビリオン。

“食”の安全を守る。こども達が、冷蔵機器の管理に挑戦。

『冷蔵サポートセンター』では、まず「冷える仕組み」を学びます。「冷蔵ショーケース」がどうやって冷えるのかや、冷やすことで食の安全を守っているということを理解したうえで、修理の仕方を習います。

「冷える仕組み」を学んだあと、こども達はサポートスタッフとして、キッザニアの街で使用されているショーケースが、きちんと動いているかどうかを管理モニターで確認します。そして、警報がでている場所に出向いて、メンテナンス作業を行います。

点検・修理の仕事を通じて、メンテナンスの重要性を学ぶ。

メンテナンス作業は4人1組で行います。それぞれ修理に必要な工具や部品を持って、警報が出ている製品の設置現場へ出動し、タブレットを使って故障個所の点検を行い、修理や部品の取り換えを行います。

点検・修理を行うことで、ショーケースの構造や冷える仕組みを学ぶことができ、生活者の皆様へ安全と安心をお届けするための、メンテナンスの重要性を知ることができます。

7月24日のオープン後、たくさんのこども達が、体験してくれています。

トピックス～NEWS～

新製品 さらなる省エネを実現した ドリンクショーケースを発売

インバータ制御により、従来機種と比較して約20%の省エネを実現。
ペットボトルの収容本数もアップしました。
温度は、全4段COLD、全4段HOT、2段HOT・2段COLDに加え、
新たに1段HOT・3段COLDの設定も可能に。
コンビニエンスストア、スーパーマーケット、ドラッグストアなどに最適な一台です。

MET-31TDSS3S

展示会 病院・福祉給食の 厨房設備の専門展 フードシステムソリューション 2015

2015年9月30日(水)～10月2日(金)東京ビッグサイト

「いつでもどこでも食の安全・安心を。」をテーマに、
病院・福祉給食や学校給食に携わるお客さまへご提案いたしました。
当社ブースでは、自動洗浄機能付きブラストチラーや
チップアイス製氷機などの新製品を展示。
多くのユーザー様からご興味を持っていただきました。

新製品 収納力に優れた パネル組立式冷蔵庫

一般的なサイズの番重から大型の番重まで、大量収容が可能。間口が広いので、設置面積をフルに収容スペースとして活用できます。サイズバリエーションも6種類と豊富。ホテル・レストランなどの外食産業からスーパーマーケットなどの小売業までご利用いただけます。

BRK-200R

新製品 コンパクトに納まる スタックオン スリムタイプ製氷機

一日240kg(室温20℃、水温15℃)もの氷が生産できる、高い製氷能力を備えています。省スペース設計で、設置も安心。汚れが付きにくいクリアコーティング加工を施しているので、お手入も簡単。レストランなどの外食産業、デパートなどの流通業、従業員食堂や病院などにも最適です。

FIC-A240KS-SFT

展示会 世界30ヵ国、650社が参加 バイオテクノロジー展 BIO tech 2015に出展

2015年5月13日(水)～15日(金)東京ビッグサイト

バイオ技術・研究機器が一堂に会する展示会。今回は、初日から例年にない活況で、ブース来場者は3日間で200名超え。当社ブースでは、メディカルフリーザーや小型薬用保冷庫などを展示。具体的な商談もあり、手応えのある内容となりました。ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。

展示会 「食の技術」の総合トレードショー 国際食品工業展 FOOMA JAPAN 2015に 出展しました

2015年6月7日(火)～10日(金)東京ビッグサイト

本年度のテーマは、『おいしいね!産地から食卓までつながる安心安全技術』です。今年も、福島工業・髙橋工業・省研・FSPのグループ4社で協同出展し、フクシマグループの更に進歩充実したFOODエンジニアリング事業をご提案いたしました。今回は、FOOMAでは初となる調理実演も実施。多くの方に、当グループを知っていただける良い機会となりました。

事業別売上高

オープンショーケース

汎用業務用冷凍冷蔵庫

製氷機

トンネルフリーザー

メンテナンス・サービス

エネルギーマネージメントシステム（ベムス・ユー）
Bems-you

連結財務諸表

連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成27年3月31日現在）	当第2四半期 連結会計期間 （平成27年9月30日現在）
資産の部		
流動資産	44,677,551	43,748,170
固定資産	17,860,264	19,834,910
有形固定資産	9,750,381	10,125,614
無形固定資産	181,587	175,007
投資その他の資産	7,928,296	9,534,287
資産合計	62,537,816	63,583,081
負債の部		
流動負債	24,639,295	23,783,284
固定負債	2,661,637	2,493,964
負債合計	27,300,933	26,277,248
純資産の部		
株主資本	31,953,677	34,034,502
資本金	2,760,192	2,760,192
資本剰余金	3,062,430	3,168,379
利益剰余金	26,402,372	28,377,246
自己株式	△271,317	△271,317
その他の包括利益累計額	2,918,398	3,080,283
その他有価証券評価差額金	2,685,277	2,852,013
為替換算調整勘定	267,757	276,725
退職給付に係る調整累計額	△34,637	△48,455
非支配株主持分	364,806	191,047
純資産合計	35,236,883	37,305,832
負債純資産合計	62,537,816	63,583,081

←Point.1

連結損益計算書

（単位：千円）

	前第2四半期 連結累計期間 （平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）	当第2四半期 連結累計期間 （平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）
売上高	30,697,122	33,239,185
売上原価	22,721,978	24,415,562
売上総利益	7,975,143	8,823,622
販売費及び一般管理費	4,891,769	5,170,768
営業利益	3,083,374	3,652,853
営業外収益	275,007	213,613
営業外費用	44,471	111,931
経常利益	3,313,910	3,754,535
特別損失	361,867	—
税金等調整前四半期純利益	2,952,043	3,754,535
法人税、住民税及び事業税	1,291,023	1,233,632
法人税等調整額	△128,416	22,161
法人税等合計	1,162,607	1,255,793
非支配株主に帰属する四半期純損失	△12,616	△10,811
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,802,051	2,509,553

←Point.2

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期 連結累計期間 （平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）	当第2四半期 連結累計期間 （平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）
営業活動による キャッシュ・フロー	1,678,982	1,601,364
投資活動による キャッシュ・フロー	△227,624	△2,313,940
財務活動による キャッシュ・フロー	△637,429	△768,520
現金及び 現金同等物に係る換算差額	49,341	15,330
現金及び 現金同等物の増減額	863,270	△1,465,765
現金及び 現金同等物の期首残高	16,867,445	19,956,684
現金及び 現金同等物の四半期末残高	17,730,716	18,490,918

←Point.3

記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

Point.1

投資その他の資産「その他」に含まれる長期預金への設定並びに法人税等の納付により現金及び預金が減少したことによる流動資産の9億2千9百万円減少と、投資その他の資産「その他」に含まれる長期預金及び投資有価証券が増加したことによる固定資産の19億7千4百万円増加により、資産合計10億4千5百万円の増加となりました。

Point.2

冷凍冷蔵庫販売において、全国の販売店への営業を強化し、汎用業務用冷凍冷蔵庫、製氷機など当社主力商品の販売強化を図ったことや、大量調理を行う病院・老健施設や食品工場向けに調理後の食品を急速冷却するブラストチラーの売上の増加、さらに、チップアイスやスタックオンタイプのスリム型などのラインナップを拡充した製氷機の売上が増加したことなどにより、昨年同時期に比べ25億4千2百万円の増加となりました。

Point.3

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純利益を37億5千4百万円計上し、主に投資活動及び財務活動に資金を使用した結果、前連結会計年度末に比べ14億6千5百万円減少し、184億9千万円となりました。

Information

会社概要

商　　号	福島工業株式会社
本　　社	〒555-0012 大阪府大阪市西淀川区御幣島3-16-11
設　　立	昭和26年12月8日
資 本 金	27億6千万円
従業員数	連結:1,501名　単体:1,125名（準社員除く）2015年3月現在

役員

代表取締役社長	福島　裕
取締役副社長	福島　亮
専務取締役	福島　豪
常務取締役	片山　充
取締役	長尾 健二
取締役	水谷 浩三
取締役	藤川 隆夫
監査役	竹内 博史
監査役	吉田 広務
監査役	手川 明映

ネットワーク

支　　社	東日本(東京)、中部(名古屋)、西日本(福岡)
支　　店	札幌、東北(仙台)、信越(新潟)、関東(さいたま)、横浜、千葉、静甲(静岡)、北陸(金沢)、関西(大阪)、京都、阪和(南大阪)、神戸、岡山、広島、四国(高松)、西南九州(長崎)、沖縄
営 業 所	旭川、函館、帯広、青森、盛岡、秋田、郡山、山形、水沢、長野、松本、宇都宮、高崎、水戸、つくば、西東京、厚木、甲府、沼津、浜松、豊橋、三重、岐阜、富山、福井、滋賀、北近畿、奈良、和歌山、難波、西宮、姫路、鳥取、松江、福山、山口、徳島、松山、高知、北九州、久留米、佐賀、大分、佐世保、熊本、宮崎、鹿児島、石垣
サービスセンター	関西(大阪)
工　　場	滋賀(水口)、岡山
グループ会社	国内:髙橋工業株式会社、フクシマトレーディング株式会社、FSP株式会社、株式会社省研 海外:香港、台湾、シンガポール、韓国、上海、マレーシア、北京、タイ、ベトナム 海外工場:北京合弁工場、タイ工場

株式のご案内

決　算　日	3月31日
定時株主総会	毎年6月下旬に開催
配当金受領株主確定日	3月31日 なお、中間配当を実施する場合の確定日は9月30日
上場取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告掲載方法	当社の公告はホームページ http://www.fukusima.co.jp/ir/advertise.html に掲載いたします。
株主名簿管理人および特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
（郵便物送付先）	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
（電話照会先）	0120-782-031

最新情報、サポート情報、デジタルカタログ等、様々なコンテンツが充実。
福島工業のホームページを、ぜひご覧ください!
http://www.fukusima.co.jp/

Fukushima

この報告書は環境に配慮し、植物油インキを使用しています。
VEGETABLE OIL INK